

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式				
E1421012		合唱 (ChorusII)							対面				
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態					
選択	1	3	教育学部 令和2年度 以降入学生用	前期	木4	日本語		単独					
担当教員	氏名 栗栖 由美子												
	E-mail ykurisu@oita-u.ac.jp 内線 7617												
授業の概要	合唱本来の芸術表現を学ぶとともに、学習の場における合唱作りのプロセスを体験します。また、合唱指導における専門的知識を習得するとともに、合唱指揮者としての技術も磨きます。												
具体的な到達目標													
DP等の対応(別表参照)							1	2	3	4	5	6	7
目標1	身体の構造と機能にもとづく発声法を理解する。						○						
目標2	声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解し、表現につなげていくことができる。						○						
目標3	指揮者としての音楽表現を習得する。						○						
目標4													
目標5													
目標6													
目標7													
目標8													
目標9													
目標10													
各DPへの関連度(計10)							10						
授業の内容													
1 授業ガイダンス													
2 姿勢・呼吸法について													
3 発声指導のポイント(1)頭声と胸声													
4 発音指導のポイント(2)響きの統一													
5 変声期における歌唱指導のあり方													
6 「花」を用いての合唱(1)速度の設定													
7 「花」を用いての合唱(2)歌詞の内容と旋律の作り方													
8 「花」を用いての合唱(3)歌詞の内容と強弱のかかわり													
9 「花」を用いての合唱(4)フェルマータとリタルダンドの扱い方													
10 「マイバラード」を用いての合唱(1)4拍子から2拍子への移行													
11 「マイバラード」を用いての合唱(2)曲想の変化													
12 「マイバラード」を用いての合唱(3)曲の終わり方													
13 「大地讃頌」を用いての合唱(1)混声4部のハーモニー													
14 「大地讃頌」を用いての合唱(2)曲の構成と強弱													
15 「大地讃頌」を用いての合唱(3)フォルテとピアノの歌い方													
ラーニングポイント	A:知識の定着・確認		○	教材研究、演奏発表、相互評価			工	そ 夫 の 他 の					
	B:意見の表現・交換		○										
	C:応用志向												
	D:知識の活用・創造		○										
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修		指定曲の事前練習・教材研究(指揮も含む)(13h)										
	事後学修		授業で扱った曲の復習(10h)										
	想定時間合計		23										
教科書	教育芸術社『中学生の音楽1』ISBN978-4877888503、『中学生の音楽2・3上』ISBN978-4877888510、『中学生の音楽2・3下』ISBN978-4877888527												
参考書	文部科学省『中学校学習指導要領解説 音楽編』(平成29年告示)ISBN978-4877888114 必要に応じて、楽譜を配布します。												

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	授業への参加度（授業への取り組み、実技等）		50%	○	○	○							
	演奏発表		50%	○	○	○							
注意事項		・動きやすい服装・靴で受講してください。 ・授業全体の7割以上の出席を，単位取得のための基礎条件とします。											
備考		・定期的に小アンサンブルを行い、学生同士が指摘しあう時間を設けます。 ・受講人数によっては、曲目を変更する場合があります。											
リンク													
		URL											